

RideSense User Manual

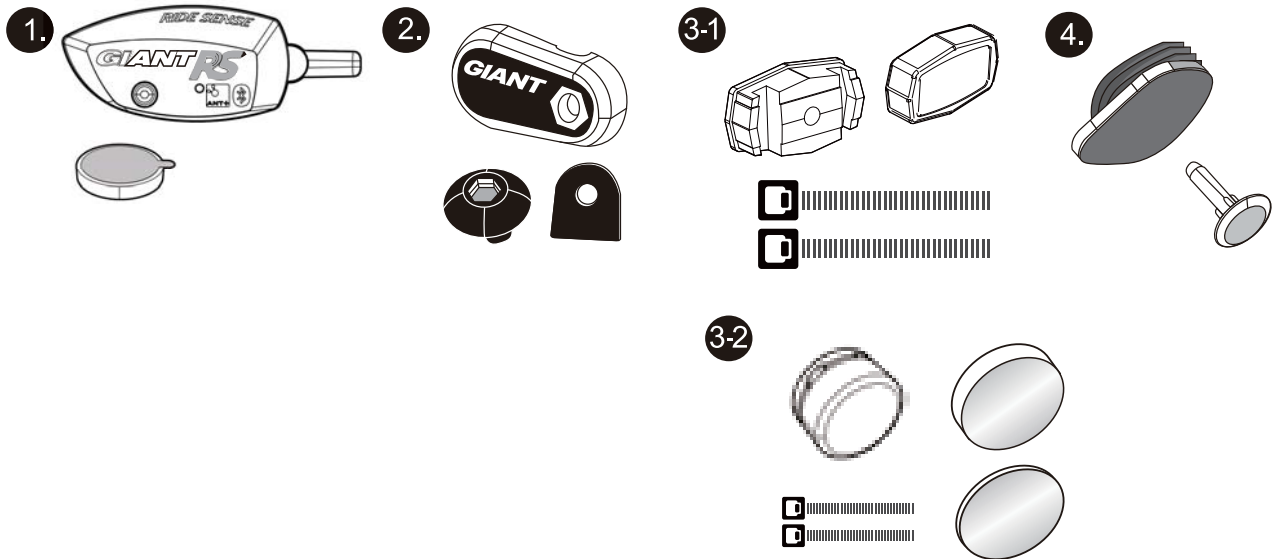
RideSenseについて:

Giant RideSense は、ANT+とBluetooth® Smart(BLE 4.0)の認証認可技術を使用しています。

ANT+:ANT+のサイクルコンピュータに対応しています。

Bluetooth® Smart(BLE 4.0):Bluetooth® Smart(BLE 4.0) システムAPPに対応しています。

付属品:下図A参照 **A**



- ① RideSense x1:六角穴付きボルトx1(2.5mm六角レンチ、最大締付トルク値:0.4Nm)/ワッシャーx1/CR2032電池x1
- ② スピードセンサーマグネットx1:六角穴付きボタンヘッドボルトx1(3mm六角レンチ、最大締付トルク値:0.5Nm)/ワッシャーx1。
- ③ ケイデンスセンサーマグネットx1:結束バンドx2、ワッシャーx1(3-1) または x2(3-2)。
- ④ チェーンステープラグ、バイクに付属(RideSenseを単品でご購入の場合、プラグは付属していません)

▲注意:RideSenseをお使いになる前に、付属品が全て揃っていることを確認してください。付属品が足りないときや破損しているときは、ご購入頂いたジャイアント正規販売店までご連絡ください。RideSense付属の新車をご購入の際は、必ずマグネットとチェーンステープラグをジャイアント正規販売店から受け取ってください。

製品仕様

仕様	情報	説明
無線技術	ANT+ Bluetooth® Smart(BLE 4.0)	RideSenseは信号送信デバイスです。ペアリングの詳細な操作方法は、サイクルコンピュータとAPPの取扱説明書をご参照ください。
使用電池	CR2032電池x1	注意:本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出してください。液漏れやセンサー本体の故障の原因となります。
使用時間 (およそ)	連続使用約500時間	毎日1時間の使用で、約1.5年使用可能です。
ワイヤレスセンシング範囲	1. ANT+:オープンスペースで10メートル 2. Bluetooth® :オープンスペースで40メートル	ワイヤレスセンシング通信範囲は周囲の環境に影響されません。
防水防塵保護等級	IP X7	

重量	18グラム	CR2032電池を含む
LED指示ランプ	緑色ランプx1、赤色ランプx1	緑色ランプ: スピード 赤色ランプ: ケイデンス
使用温度範囲	-20℃～60℃	
スピード/ケイデンス機能対応APP	Android 4.3以上 iOS 7以上	詳しい対応機種は、各APPのインストール方法をご参照ください。

機能モード

機能	説明	処置
ANT+ペアリング	ANT+対応サイクルコンピュータと接続	サイクルコンピュータ取扱説明書を参照し、サイクルコンピュータをペアリングモードにしてRideSenseを検索します。
Bluetoothペアリング	スマートフォンのAPPと接続	APP取扱説明書を参照し、APPをペアリングモードにしてRideSenseを検索します。
スリープモード	20分間センサーが作動しないときはスリープ状態になります。	スリープ状態で、ケイデンスセンサーまたはスピードセンサーの反応を検知すると、自動的に起動し、ペアリングも回復します。アラームモードでは、スリープ機能は起動しません。
スリープモードからの復帰	ケイデンスセンサーまたはスピードセンサーの反応を検知したとき。	ケイデンスセンサーまたはスピードセンサーの反応を検知すると、RideSenseが起動し、ペアリングも回復します。
リセット	デバイスをリセット	RESETボタンを12秒続けて押し、赤色ランプと緑色ランプが1回点灯するとリセット完了です。
電池残量警告	RideSenseは電池残量が少なくなると、アラーム機能が起動し赤色ランプが3回点灯します。なるべく早く電池を交換してください。	なるべく早く電池を交換してください。

取り付け手順

電池カバーの取り付け: **B**

▲警告: RideSenseを取り付ける前に、電池カバーに浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。確実に取り付けられていない場合は、電池カバーがしっかりと閉まらず、電池ケース内バネの破損、防水機能の故障などにつながります。

1.



2.



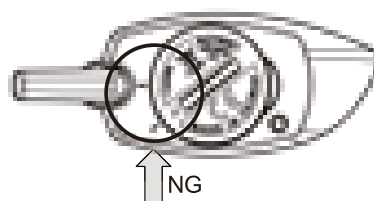
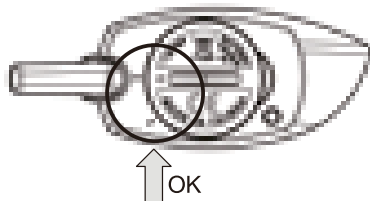
3.



4.



5.



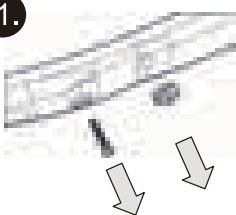
RideSenseの取り付け: C

フレームのチェーンステープラグ (RideSenseのみご購入の場合プラグは付属していません) を取り外し、RideSenseのアンテナをフレームチェーンステーの開口部に挿入し、RideSense本体をチェーンステーにぴったりと合わせ、六角穴付きボルトで固定します。(2.5mm六角レンチ、最大締付トルク値:0.4Nm)

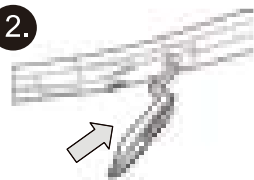
▲注意: 電池カバーがしっかりと閉まっていることを確認して下さい。誤ったカバーの取り付けにより、正常な防水機能を発揮しない恐れがあります。

▲警告: ご乗車の前には、RideSenseが正しい位置にしっかりと固定されていることを確認してください。正しい位置にしっかりと取り付けられていない場合、機能の異常が生じたり、深刻なケガにつながる恐れがあります。

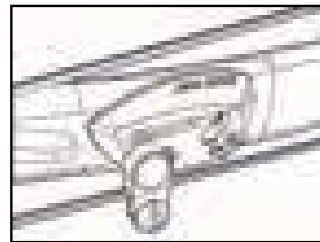
1.



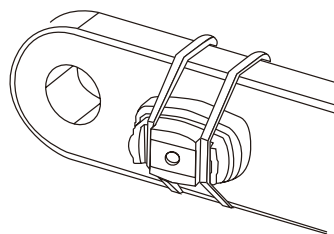
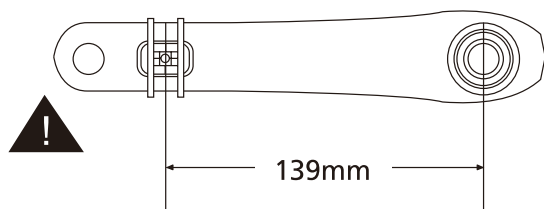
2.



3.



ケイデンスセンサーマグネットの取り付け: D

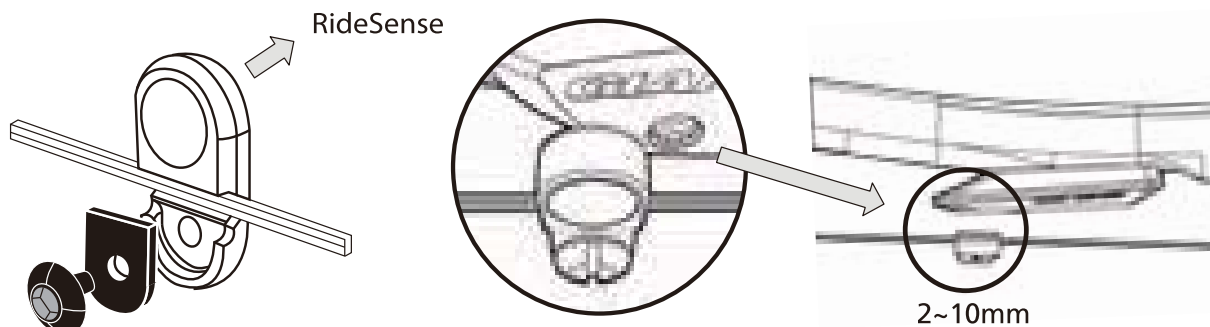


▲注意: ケイデンスセンサーマグネットのはくり紙をはがし、ケイデンスセンサーマグネットをボトムブラケット中央から左クランク内側の139mm(±6mm)のところに合わせ、結束バンドで固定します。クランクを回してセンサーが機能することを確認します。

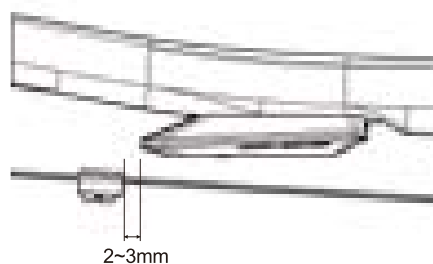
▲注意: フレームとマグネットの距離が7mm(3-1)/12mm(3-2)以上の場合、センサーに不具合が生じる恐れがあります。付属の専用シートを敷き、調節してください。

スピードセンサーマグネット: EとF

▲注意: スピードセンサーマグネットとRideSenseは2~10mm以内に調整してください。マグネットとRideSenseの間に適切な間隔が確保できれば、マグネットは表裏どちら向きでも取り付けことができます。



マグネットがRideSenseに近すぎる、またはRideSenseに触れている場合は、誤った位置に取り付けられています。マグネットがRideSenseに触れ、破損が生じないように注意してください。(下記の取り付け位置図をご参照ください)

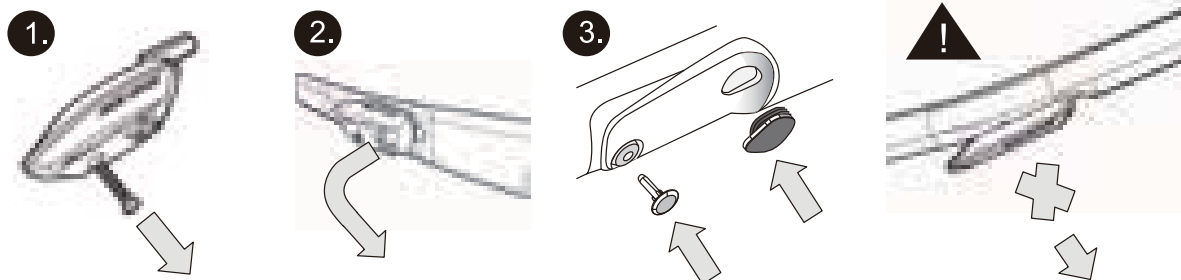


■ デバイスの端とマグネットの端の距離は2~3mm

RideSenseを取り外す

六角ボルトを緩め、アンテナが壊れないように慎重に取り外します。RideSenseを取り外してから、チェーンステープラグをフレームの開口部に挿し込みます

▲警告:取り外しの際、RideSense本体を垂直方向に引き上げようとする、RideSenseまたはフレームの破損の原因となる恐れがあります。



RideSense メンテナンス

① 電池交換:

▲注意:ご乗車の前には電池残量を確認してください。電池残量が少ない場合、RideSenseセンサーの動作異常が生じたり、ペアリングが出来ないことがあります。

▲注意:電池を取り外した後、30秒待機してからRideSenseを再度設定してください。電池を交換した後、正常に動作を開始します。
注意:長時間使用しない場合は、電池の液漏れやセンサー本体の損傷を防ぐため、電池を取り外してください。

▲警告:新しい電池に入れ替える際、電池カバーに浮いた箇所が無くしっかり閉まっていることを確認してください。電池交換が適切に行われていないと、電池カバーがきちんと閉まらない、電池ケース内のバネの破損、防水機能の故障などにつながります。

RideSenseのリセット:

方法1:本体から電池を取り出すと、30秒で自動的にリセットされます。

方法2:RESESTボタンを12秒間長押しし、赤色ランプと緑色ランプが1回点灯すれば、RideSenseのリセットは完了です。

注意事項:

- ① センサーデバイスは雨天でもご利用いただけますが、水中で使用することはできません。また高圧洗浄機で洗浄しないでください。
- ② センサーマグネットとセンサーの取り付け位置を定期的に確認してください。
- ③ 古くなった化学洗浄剤を使用してセンサーを洗浄しないでください。
- ④ 乗車中は安全に注意してください。



品質保証規定

- ① 株式会社ジャイアント(以下ジャイアント)は、ご購入日から2年以内のRideSenseの品質保証を提供致します。保証期間中、使用者が取扱説明書に基づく正常な使用状態において、故障や破損が生じた場合、ご購入頂いたジャイアント正規販売店を通じて、アフターサービスを提供いたします。
- ② 説明書を参照しても問題が解決せず、保証修理を受ける場合は、ジャイアント正規販売店にてご購入日を証明するレシート、全てのRideSenseセット及びお使いのサイクルコンピュータをご提示ください。

保証対象外(下記の原因は保証対象外となります):

- 本製品または付属品の改造。
- 想定されていない環境での本製品の使用。
- 本取扱説明書の各説明事項または指示に従わず生じた破損や故障。
- 製品の破損や故障により生じた追加費用。

品質保証期間または各事項は、各地域の法律規定の違いにより、消費者の基本的権利を定めており、本品質保証規定に影響を及ぼすものではありません。

トラブルシューティング

下記の指示に従ってトラブルシューティングを行い、各手順完了後、RideSenseをリセットしてください。問題が解決しない場合は、ご購入頂いたジャイアント正規販売店またはジャイアントまでお問合せください。

症状	考えられる原因	処置方法
ANT+ペアリングができない	1. ANT+デバイスの干渉 2. スリープモードになっている	1. 周囲に起動中のANTデバイスが無いことを確認してください。例: スピード/ケイデンスデバイス。RideSenseのボタンを12秒間押し続け、赤色ランプと緑色ランプが1回点灯してから、再度ペアリングを行います。 2. ケイデンスマグネットまたはスピードセンサーを反応させ、デバイスを復帰させます。
Bluetoothのペアリングができない	1. RideSenseがすでにBluetoothと連動中である 2. スリープモードになっている	1. RideSenseとその他APP/デバイスがまだ連動しておらずビジー状態でないことを確認してください。ビジー状態が続く場合は、RideSenseのボタンを12秒間押し続け、赤色ランプと緑色ランプが1回点灯してから、再度ペアリングを行います。 2. ケイデンスマグネットまたはスピードセンサーを反応させ、RideSenseを復帰させます。
RideSenseが起動しない	1. 電力不足	電池残量を確認してください。
	2. スリープモードになっている	ケイデンスセンサーまたはスピードセンサーを反応させ、RideSenseを復帰させます。
	3. デバイスのペアリングが完了していない	デバイスのペアリングを行ってください。
スピード、ケイデンス情報が無い	1. マグネットとセンサーの反応が不良である	マグネットの取り付け位置が正しいことを確認してください。
	2. スリープモードになっている	ケイデンスセンサーまたはスピードセンサーを反応させ、RideSenseを復帰させます。



『廃乾電池はリサイクルしてください』

本製品の水銀含有量は環境保護署規定01890—AR4に適合しています

注意: 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出してください。液漏れやセンサー本体の故障の原因となります。

RideSense製品の使用に関する注意事項

RideSenseを使用する前に、本マニュアルをよくお読みください。

また、本マニュアルはお手の届く場所に保管してください。

本マニュアルに関するご意見やご質問がある場合は、ジャイアント正規販売店にご相談ください。

- ① 本製品が適切に動作するために、ご利用のスマートフォン上に互換性のあるBluetooth 4.0 およびOSを必要とします。
- ② 本製品が信号を発信しない場合は、再取り付けする前に、電源をオフ/オンする、または、バッテリーを取り外し/再取り付けすることにより、回復を試みてください。
- ③ 本製品は、設計通り機能させるため、ジャイアントの自転車に取り付ける必要があります。
- ④ 本製品の外側と内側の構造、部品または基盤を修正、変更あるいは分解しないでください。

免責事項:

- ジャイアントは、製品に同梱されているサービス条件に従ってその義務を履行し、合理的な技術と知識に基づいてお客様にこれらのサービスを提供するものとします。以下の条件のいずれかの場合、ジャイアントは保証のすべてあるいは一部を保留、一時停止または終了できるものとします。
 1. 通信事業者が、ネットワークサービスを提供することができない場合
 2. 予期しない通信機器の故障
 3. 当社の制御下にない要因により、サービス情報が誤って表示された、または偽造、変更、削除あるいは取得された場合
 4. 製品の仕様に関係のない要因により、機器またはソフトウェアが中断あるいは終了した場合
- ジャイアントは、本サービスの無効または誤った操作による事故や損害に対して、一切責任を負いません。
- ジャイアントは、本製品のガイドラインまたはマニュアルに従わないユーザーの活動による製品の故障に対して、如何なる損害賠償責任を負うこと、または、補償義務を保証することはありません。
- 商品性、特定の目的に対する適合性、第三者の権利の侵害を含むそれらに限定されない明示的、または暗黙的な保証または規定はありません。